

《4月定例会報告》

三好氏

今回の勉強会は東京都立産業技術研究所から三好氏をお迎えして、ユニバーサルデザインに関してお話をいただきました。三好氏は製品科学技術グループに属し主に工業製品のデザインにたずさわっている。

技術の進歩

最近、家電のほとんどのスイッチがタッチセンサーになり情報は液晶画面で表示されるようになった。これらは技術の進歩により軽く薄く分かりやすくをテーマに各家電メーカーがしのぎを削っているのであろう。しかし、これはあくまで一般の人々を対象に進歩した技術で目や耳など障害を持っている人々は対象とされていないというのが現状である。

求められる物

では実際、障害を持たれている方々はどのような物を求めているのか。スイッチ類などは大きく凹凸のあるスイッチを望まれる。多機能によりリモコンなど限られたスペースにできるだけ多くの機能を取り付けようとするためスイッチの一つ一つがどうしても小さくせざるおえなくなってしまう。しかしそれら多くの機能は必要とされているのだろうか。

《総会報告》

会員数	99名
出席	29名
委任状	39名

今期スケジュール、前年度予算についての説明もあり、会長の大原さんからの挨拶がありました。詳細については別紙にてご説明します。なお総会の議事進行に対してはすべて承認されました、ご報告します。

ユニバーサルデザイン

紙幣は以前から隅に凹凸をつけることにより目の不自由な方でも金額が分かるようになっていた。

それは当時画期的なものでユニバーサルデザインの先駆けになることとなる。

近年各メーカーもこぞってユニバーサルデザインを取り入れるようになってきた。

代表的なものは、シャンプーとリンスのボトルであろう。

それらボトルは、収納、見た目、メーカーの個性を出すため共に大きさや形が全くと言って良いほど同じである。

我々一般の人間でも名称が見えなければどちらがシャンプーなのかが分からないほどである。

そこでシャンプーには凹凸を付け、リンスには凹凸を取り付けないことにより目の不自由な方でも識別がつくようにした。

このように我々一般の人間にとっては何気ないことが障害を持っている人々にとっては大きな障害となっているのである。我々はそれら何気ないことに気づき考案していくことによりユニバーサルデザインに近づくことができるのであろう。

《5月定例会・勉強会のご案内》

5月の定例会は井崎氏をお迎えして、ユニバーサルデザイン全般についてお話していただく予定です。

記

日時 5月7日(火)
PM6:30~PM8:00
場所 東京都産業技術研究所
2F 会議室



八王子ファッション協議会事務局

〒193-0832
東京都八王子市散田町1-5-3 ニットブラン工業㈱内
TEL・FAX 0426-61-1860
mail to:hfc@hfc-net.org